



## 平成28年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年6月10日

上場取引所 東

上場会社名 ロングライフホールディング株式会社  
コード番号 4355 URL <http://www.longlife-holding.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 正一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 瀧村 明泰

TEL 06-6373-9191

四半期報告書提出予定日 平成28年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年10月期第2四半期の連結業績(平成27年11月1日～平成28年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第2四半期	5,518	△1.3	132	△61.4	83	△70.6	10	△92.4
27年10月期第2四半期	5,590	4.1	343	6.3	283	△20.8	136	△28.3

(注) 包括利益 28年10月期第2四半期 △24百万円 (—%) 27年10月期第2四半期 144百万円 (△25.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年10月期第2四半期	1.00	—
27年10月期第2四半期	12.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年10月期第2四半期	13,166	2,977	22.6	288.75
27年10月期	12,814	3,142	24.5	302.36

(参考) 自己資本 28年10月期第2四半期 2,977百万円 27年10月期 3,142百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年10月期	—	0.00	—	8.50	8.50
28年10月期	—	0.00	—	—	—
28年10月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年10月期の連結業績予想(平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	11,760	4.2	500	△24.2	400	△35.4	200	△38.3	19.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年10月期2Q	11,190,400 株	27年10月期	11,190,400 株
28年10月期2Q	877,905 株	27年10月期	797,305 株
28年10月期2Q	10,380,988 株	27年10月期2Q	10,513,328 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の監査手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、年明けからの円高・株安傾向が続いていることから、企業収益、雇用・所得環境は総じて緩やかな回復基調に留まっております。

介護サービス業界においては、政府が「1億総活躍社会」の実現に向けて介護離職ゼロの方針を掲げ、介護施設の整備・増設対策を打ち出す一方、サービスの担い手である人材の確保について厳しい状況が続いております。

当社グループは、次世代の担い手となる人材に対して、多様な働き方や職場環境を提供するため、ワークライフバランスの適正化や研修制度の充実、処遇改善、海外進出等の取り組みをおこなってまいりました。

このような状況のもと、当社グループは、ホーム介護事業、在宅介護事業ともに、新規顧客の獲得が計画通りに進まなかったこと、新規ホームの開設及びリゾート事業の先行投資があった結果、売上高は55億18百万円（前年同期比1.3%減）となりました。また、営業利益は1億32百万円（前年同期比61.4%減）、経常利益は83百万円（前年同期比70.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10百万円（前年同期比92.4%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。詳細は、3「四半期連結財務諸表」（4）「四半期連結財務諸表に関する注記事項」（セグメント情報等）Ⅱ 当第2四半期連結累計期間の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

#### ①ホーム介護事業

ホーム介護事業につきましては、当第2四半期連結会計期間末におけるホーム数は21ホームで居室総数は861室となっております。ホーム介護事業の運営体制の効率アップ並びにブランディング活動等の営業強化により、入居率の引き上げに注力しております。

ホーム介護事業の売上高は20億20百万円（前年同期比1.2%増）、経常損失は67百万円（前年同期は53百万円の経常利益）となりました。

#### ②在宅介護事業

在宅介護事業につきましては、当第2四半期連結会計期間末におけるサービス数は144サービスとなっております。

事業所の新設、中部圏への事業展開並びに障がい支援サービス等の介護保険適用外サービス獲得のための活発な営業活動を行っております。

在宅介護事業の売上高は26億95百万円（前年同期比1.9%減）、経常利益は43百万円（前年同期比67.2%減）となりました。

#### ③福祉用具事業

福祉用具事業につきましては、福祉用具の販売・レンタル、住宅改修の専門企業として、お客様の日常生活の自立を支援するサービスを提供しております。

福祉用具事業の売上高は6億47百万円（前年同期比9.2%減）、経常利益は43百万円（前年同期比31.6%増）となりました。

#### ④フード事業

フード事業につきましては、主に当社が運営する有料老人ホーム等44箇所にて食事を提供しております。

オリジナル商品の販売等によるグループ外への営業強化に注力することで、ブランド力の向上に努めております。

フード事業の売上高は22百万円（前年同期比1.6%減）、経常利益は14百万円（前年同期比35.1%増）となりました。

#### ⑤リゾート事業

リゾート事業につきましては、会員制のリゾートホテルの運営を行います。

現在、由布院、函館、石垣島及び箱根に展開するリゾートホテルの開業に向けて建設を進めております。

リゾート事業は、現在は新規オープンに向けて手続き等を進めている段階であるため、売上高の計上はなく、諸費用の支出により、経常損失は72百万円となりました。

#### ⑥その他

その他につきましては、調剤薬局事業を行う連結子会社の「ロングライフファーマシー株式会社」、国内外企業への投資事業を行う連結子会社の「ロングライフ国際事業投資株式会社」の2社により構成されております。

当セグメントの売上高は1億32百万円（前年同期比17.5%増）、経常損失は21百万円（前年同期は50百万円の経常損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億51百万円増加し、131億66百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末より1億72百万円減少し、54億24百万円となりました。その主な内訳は、流動資産のその他に含まれる前払費用が25百万円、預け金が22百万円それぞれ増加し、現金及び預金が1億35百万円、繰延税金資産が91百万円、受取手形及び売掛金が49百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末より5億23百万円増加し、77億41百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産が5億15百万円、投資その他の資産が15百万円それぞれ増加し、無形固定資産が7百万円減少したことによるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末より1億23百万円減少し、67億88百万円となりました。その主な内訳は、前受金が3億97百万円増加し、未払金が1億87百万円、賞与引当金が1億49百万円、未払法人税等が91百万円、1年内返済予定の長期借入金が45百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末より6億39百万円増加し、34億円となりました。その主な内訳は、長期借入金が6億49百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ1億64百万円減少し、29億77百万円となり、自己資本比率は22.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2億35百万円減少し、18億73百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は65百万円(前年同期は2億円の資金の増加)となりました。

その主な内訳は、収入要因として、前受金の増加額3億97百万円、税金等調整前四半期純利益1億81百万円、減価償却費1億35百万円、支出要因として、未払金の減少額1億83百万円、法人税等の支払額1億71百万円、賞与引当金の減少額1億49百万円、関係会社出資金売却益1億8百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は7億62百万円(前年同期は3億1百万円の資金の減少)となりました。

その主な内訳は、収入要因として、関係会社出資金の売却による収入1億15百万円、支出要因として、有形固定資産の取得による支出6億56百万円、関係会社出資金の払込による支出1億13百万円、定期預金の預入による支出1億円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は4億64百万円(前年同期は1億23百万円の資金の減少)となりました。

その内訳は、収入要因として、長期借入れによる収入7億19百万円、支出要因として、長期借入金の返済による支出1億14百万円、配当金の支払額87百万円、リース債務の返済による支出26百万円、自己株式の取得による支出26百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年6月7日の「平成28年10月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,143,320	2,008,135
受取手形及び売掛金	1,511,721	1,461,943
たな卸資産	40,066	49,976
繰延税金資産	146,129	54,254
預け金	1,550,513	1,572,759
その他	205,049	277,351
流動資産合計	5,596,799	5,424,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,931,623	5,954,317
減価償却累計額	△2,303,583	△2,379,014
建物及び構築物(純額)	3,628,039	3,575,303
車両運搬具	4,956	4,956
減価償却累計額	△4,949	△4,952
車両運搬具(純額)	6	3
工具、器具及び備品	422,981	453,455
減価償却累計額	△334,698	△350,578
工具、器具及び備品(純額)	88,282	102,877
土地	2,440,381	2,940,518
リース資産	325,189	325,189
減価償却累計額	△225,325	△249,556
リース資産(純額)	99,863	75,632
建設仮勘定	98,789	176,996
有形固定資産合計	6,355,363	6,871,331
無形固定資産		
のれん	6,377	—
その他	22,894	21,793
無形固定資産合計	29,272	21,793
投資その他の資産		
投資有価証券	147,414	125,659
関係会社株式	43,313	7,258
差入保証金	503,576	504,676
長期前払費用	61,301	57,689
その他	77,688	153,473
投資その他の資産合計	833,295	848,757
固定資産合計	7,217,931	7,741,883
資産合計	12,814,731	13,166,304

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	134,212	135,769
短期借入金	170,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	259,231	213,992
リース債務	49,400	33,628
未払金	494,910	307,213
未払費用	524,595	516,378
未払法人税等	172,275	81,038
前受金	4,656,951	5,054,112
賞与引当金	278,329	128,636
契約解除引当金	30,468	14,458
その他	141,631	133,089
流動負債合計	6,912,006	6,788,317
固定負債		
長期借入金	2,528,418	3,178,309
リース債務	60,510	49,528
繰延税金負債	29,771	21,006
退職給付に係る負債	48,139	59,036
資産除去債務	88,637	89,353
その他	4,812	3,040
固定負債合計	2,760,288	3,400,274
負債合計	9,672,295	10,188,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	3,201,195	3,097,990
自己株式	△201,774	△227,901
株主資本合計	3,099,420	2,970,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,622	11,336
為替換算調整勘定	17,393	△3,712
その他の包括利益累計額合計	43,015	7,623
純資産合計	3,142,435	2,977,712
負債純資産合計	12,814,731	13,166,304



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)
売上高	5,590,714	5,518,352
売上原価	4,232,652	4,196,103
売上総利益	1,358,061	1,322,248
販売費及び一般管理費	1,014,693	1,189,777
営業利益	343,368	132,471
営業外収益		
受取利息	290	140
受取配当金	360	402
受取入居者負担金	7,820	7,785
施設利用料収入	547	477
助成金収入	249	450
その他	6,189	2,489
営業外収益合計	15,456	11,745
営業外費用		
支払利息	29,963	29,601
支払手数料	17,000	11,826
持分法による投資損失	20,853	7,065
その他	7,898	12,398
営業外費用合計	75,715	60,892
経常利益	283,109	83,323
特別利益		
関係会社出資金売却益	—	108,360
特別利益合計	—	108,360
特別損失		
固定資産除却損	9	9,681
店舗閉鎖損失	9,092	471
賃貸借契約解約損	789	184
訴訟関連損失	516	—
特別損失合計	10,408	10,337
税金等調整前四半期純利益	272,701	181,346
法人税、住民税及び事業税	72,813	79,874
法人税等調整額	63,348	91,057
法人税等合計	136,162	170,932
四半期純利益	136,539	10,413
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,539	10,413

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)
四半期純利益	136,539	10,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,036	△14,285
持分法適用会社に対する持分相当額	1,218	△21,106
その他の包括利益合計	8,255	△35,391
四半期包括利益	144,794	△24,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,794	△24,977

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	272,701	181,346
減価償却費	143,559	135,689
長期前払費用償却額	5,489	5,732
のれん償却額	14,466	6,377
賞与引当金の増減額(△は減少)	△128,724	△149,693
契約解除引当金の増減額(△は減少)	△4,080	△16,010
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,439	10,896
受取利息及び受取配当金	△650	△542
支払利息	29,963	29,601
関係会社出資金売却損益(△は益)	—	△108,360
持分法による投資損益(△は益)	20,853	7,065
有形固定資産除却損	9	9,681
店舗閉鎖損失	9,092	471
売上債権の増減額(△は増加)	23,442	49,778
たな卸資産の増減額(△は増加)	365	△9,909
預け金の増減額(△は増加)	△14,035	△22,246
仕入債務の増減額(△は減少)	22,303	1,556
未払金の増減額(△は減少)	△36,076	△183,207
前受金の増減額(△は減少)	75,960	397,160
未収消費税等の増減額(△は増加)	432	△466
未払消費税等の増減額(△は減少)	△29,052	△9,898
その他	△15,448	△68,855
小計	397,011	266,169
利息及び配当金の受取額	650	542
利息の支払額	△26,219	△30,380
法人税等の支払額	△171,209	△171,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	200,232	65,135

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
投資有価証券の取得による支出	△464	△481
有形固定資産の取得による支出	△217,623	△656,751
無形固定資産の取得による支出	△1,056	△2,575
敷金及び保証金の差入による支出	△47,219	△1,828
敷金及び保証金の回収による収入	1,649	729
長期前払費用の取得による支出	△2,974	△1,814
関係会社株式の取得による支出	△31,546	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△113,393
関係会社出資金の売却による収入	—	115,555
その他	△1,954	△1,739
投資活動によるキャッシュ・フロー	△301,189	△762,301
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,663	—
長期借入れによる収入	1,150,000	719,000
長期借入金の返済による支出	△1,101,671	△114,348
リース債務の返済による支出	△28,378	△26,754
自己株式の取得による支出	△74,968	△26,126
配当金の支払額	△58,333	△87,599
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123,014	464,171
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	△2,189
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△223,906	△235,184
現金及び現金同等物の期首残高	1,657,287	2,108,320
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,433,380	1,873,135

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ホーム 介護	在宅介護	福祉用具	フード	リゾート	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,995,386	2,746,379	712,941	23,050	—	5,477,757	112,956	5,590,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,776	13,962	245,313	—	264,052	1,805	265,858
計	1,995,386	2,751,155	726,904	268,364	—	5,741,810	114,762	5,856,572
セグメント利益又は損 失(△)	53,372	133,142	33,245	10,565	—	230,325	△50,010	180,314

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、教育研修事業及び投資事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	230,325
「その他」の区分の利益	△50,010
未実現利益の調整額	71
のれんの償却額	△14,466
全社損益(注)	117,189
四半期連結損益計算書の経常利益	283,109

(注) 全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及びグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ホーム 介護	在宅介護	福祉用具	フード	リゾート	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,020,231	2,695,545	647,199	22,690	—	5,385,665	132,686	5,518,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	835	26,845	271,147	—	298,828	8,978	307,807
計	2,020,231	2,696,380	674,044	293,837	—	5,684,494	141,664	5,826,159
セグメント利益又は損 失(△)	△67,253	43,704	43,743	14,274	△72,987	△38,518	△21,078	△59,596

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、投資事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△38,518
「その他」の区分の利益	△21,078
未実現利益の調整額	71
のれんの償却額	△6,377
全社損益(注)	149,226
四半期連結損益計算書の経常利益	83,323

(注) 全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及びグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他事業」に含まれていた「リゾート事業」について重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。